

文化財の保護と活用について



社会教育・文化財課 平成28年11月24日（木）

文化財の保護と活用について

意見交換のテーマ

文化財を活用した学習機会の提供の充実

説明内容

- 1 文化財について
- 2 山口県の文化財の現状
- 3 文化財の保護と活用

文化財とは？

○文化財は我が国の長い歴史の中で生まれ、はぐくまれ、今日まで守り伝えられてきた貴重な国民的財産

* 文化財は、一度失われると復元が難しいもの

文化財とは？

○文化財保護法に基づき重要なものを国宝、重要文化財、史跡、名勝、天然記念物等に指定して保護

* 山口県では、山口県文化財保護条例で指定

文化財とは？

《文化財の種類》

- 有形文化財⇒重要文化財(国宝)
- 無形文化財⇒重要無形文化財
- 民俗文化財⇒有形民俗文化財
無形民俗文化財
- 記念物⇒史跡、名勝、天然記念物
- 伝統的建造物群
- 文化的景観

文化財とは？

- 有形文化財
 - 建造物や美術工芸品のうち
歴史上芸術上価値の高いもの
(**重要文化財**に指定)
 - 重要文化財のうち、特に価値
の高いものを**国宝**に指定

文化財とは？

○無形文化財

- ・ 演劇や工芸技術等のうち、
歴史上芸術上価値の高いもの
（重要無形文化財に指定）
- ・ 重要無形文化財の技術を持つ
者を保持者に認定
（いわゆる人間国宝）

文化財とは？

○民俗文化財

- ・ 衣食住、信仰、年中行事等に関する風俗習慣、民俗芸能等及びこれらに用いられる衣装、器具、家屋など我が国の生活の推移の理解に欠くことのできないもの
- ・ 有形民俗文化財：製塩用具、捕鯨用具、石風呂など
- ・ 無形民俗文化財：神楽、神舞、祭など

文化財とは？

○記念物

史跡：古墳、都城跡、旧宅など歴史上、学術上価値の高いもの

名勝：庭園、橋梁、溪谷など芸術上、観賞上価値の高いもの

天然記念物：動物、植物、地質鉱物で学術上価値の高いもの

文化財とは？

○伝統的建造物群

周囲の環境と一体をなして歴史的風致を形成している伝統的な建造物群で価値の高いもの

《山口県での選定：5件》

萩市4件（堀内、平安古、浜崎、佐々並）

柳井市1件（古市金屋）

文化財とは？

○文化的景観

地域における人々の生活及び風土により形成された景勝地で我が国の生活又は生業の理解のため欠くことのできないもの (山口県での選定なし)

山口県の文化財の現状

- 県内の文化財は地域で醸成された伝統・文化の象徴であり、そこに暮らす人々の誇りである
- これら文化財のうち、特に貴重なものを山口県文化財保護条例に基づき、県指定文化財に指定し、保護している

山口県の文化財の現状

- 有形の指定文化財は古いものであり、経年変化等により傷みが進みつつある
- 無形の指定文化財は過疎化、少子高齢化により後継者や運営費不足を招く恐れがある

山口県の文化財の現状

○国指定文化財数	(2 4 7 件)
国宝	9 件
重要文化財	1 2 6 件
重要無形文化財	1 件
重要民俗文化財	1 6 件
記念物	9 5 件

山口県の文化財の現状

○県指定文化財数（353件）

有形文化財 220件

無形文化財 3件

民俗文化財 42件

記念物 88件

山口県の文化財の現状

○山口県の文化財指定の特徴

国指定天然記念物数が**日本一**

特別天然記念物 3件

天然記念物 40件

合計 **43件**

第2位 宮崎県 39件

第3位 岐阜県 38件

(H28, 11, 1現在文化庁HP)

山口県の文化財の現状

○県内の**国宝**

建造物《3件》

功山寺仏殿（下関市）

住吉神社本殿（下関市）

瑠璃光寺五重塔（山口市）

山口県の文化財の現状

○**国宝** 功山寺仏殿（下関市）



山口県の文化財の現状

○**国宝**住吉神社本殿（下関市）



山口県の文化財の現状

○**国宝**瑠璃光寺五重塔（山口市）



山口県の文化財の現状

○県内の**国宝**

美術工芸品《6件》

- 《絵画》紙本墨画淡彩四季山水図
雪舟筆（防府市）
- 《書跡》紙本墨書古今和歌集第八
（高野切本）（防府市）
- 《工芸品》鉄宝塔（水晶五輪塔共）
（防府市）

山口県の文化財の現状

○県内の**国宝**

美術工芸品《6件》

- 《書跡》史記呂后本紀第九（防府市）
- 《工芸品》菊造腰刀
刀身 無銘 伝当麻（防府市）
- 《工芸品》太刀 銘為次（狐ヶ崎）
（岩国市）

山口県の文化財の現状

○県内の重要文化財

建造物《35件》

四階楼（上関町）

旧英国領事館（下関市）

宇部市渡辺翁記念会館（宇部市）

山口県旧県庁舎及び県会議事堂

大照院（萩市）

旧毛利家本邸（防府市） など

山口県の文化財の現状

○県内の重要文化財

美術工芸品《91件》

《彫刻》木造金剛力士像（防府市）

《絵画》紙本着色松崎天神縁起（防府市）

《工芸品》梵鐘（大内義隆寄進）（山口市）

《歴史資料》山口県行政文書（山口市）

《古文書》毛利家文書（防府市） など

山口県の文化財の現状

○重要無形文化財保持者（人間国宝）

工芸技術・金工（彫金）

山本 晃さん（光市）

平成26年10月23日認定



山口県の文化財の現状

○県内の重要民俗文化財

重要有形民俗文化財《11件》

蓋井島「山の神」の森（下関市）

久賀の石風呂（周防大島町）

赤崎神社楽棧敷（長門市）

長門の捕鯨用具（長門市）

製塩用具（防府市）

阿弥陀寺の湯屋（防府市） など

山口県の文化財の現状

○県内の重要民俗文化財

重要無形民俗文化財《5件》

三作神楽（防府市）

地福のトイトイ（山口市）

周防祖生の柱松行事（岩国市）

岩国行波の神舞（岩国市）

阿月の神明祭（柳井市）

山口県の文化財の現状

○県内の特別天然記念物

八代のツルおよびその渡来地（周南市）

秋芳洞（美祢市）

秋吉台（美祢市）

* 地域を定めないもの

「オオサンショウウオ」

（岩国市に生息が確認されている）

山口県の文化財の現状

八代のツルおよびその渡来地（周南市）



本年度の渡来ツル



山口県の文化財の現状

- 県内の国指定天然記念物（40件）
 - 山口ゲンジボタル発生地（山口市）
 - 川棚のクスの森（下関市）
 - 見島ウシ産地（萩市）
 - 大日比ナツミカン原樹（長門市）
 - 大正洞（美祢市） など

* 地域を定めないもの
「岩国のシロヘビ」（岩国市に生息）

山口県の文化財の現状

○県内の国指定史跡（42件）

萩反射炉、恵美須ヶ鼻造船所跡、
松下村塾、大板山たたら製鉄遺跡、
萩城城下町、萩城跡

世界遺産「明治日本の産業革命遺産」
の構成資産

山口県の文化財の現状

○県内の国指定史跡（42件）

綾羅木郷遺跡（下関市）

大内氏遺跡附凌雲寺跡（山口市）

萩往還（萩・山口・防府市）

茶臼山古墳（柳井市）

長登銅山跡（美祢市） など

山口県の文化財の現状

○県内の国指定名勝（10件）

錦帯橋（岩国市）

常栄寺庭園（山口市）

狗留孫山（下関市）

青海島（長門市）

毛利氏庭園（防府市）

長門峡（山口・萩市） など

山口県の文化財の現状

○県指定有形文化財（建造物）

大寧寺本堂（長門市）

河村写真館（山口市）

山口銀行旧本店（下関市）

旧伊藤博文邸（光市）

旧山口藩庁門（山口市）

香川家長屋門（岩国市） など

山口県の文化財の現状

- 県指定有形文化財（建造物以外）
- ◀絵画▶絹本着色釈迦三尊像（萩市）
- ◀彫刻▶木造薬師如来坐像（山口市）
- ◀工芸品▶鰐口（下関市）
- ◀古文書▶防府天満宮文書（防府市）
- ◀考古資料▶白鳥古墳出土品（平生町）
- ◀典籍▶大般若経（岩国市） など

山口県の文化財の現状

- 県指定無形文化財
- ◀鷺流狂言▶保持者 2名
- ◀赤間硯▶保持者 1名
- ◀萩焼▶保持者 5名

山口県の文化財の現状

○県指定民俗文化財

《有形》

小田家の生活用具・商家資料・町家
(柳井市)

《無形》

切山歌舞伎 (下松市)
山崎八幡宮の本山神事 (周南市)
忌宮神社の数方庭行事 (下関市)
北浦地方のサバー送り (長門市) など

山口県の文化財の現状

○県指定史跡

長府藩主毛利家墓所 (下関市)
荒滝山城跡 (宇部市)

○県指定名勝

善生寺庭園 (山口市)
弥栄峡 (岩国市)

○県指定天然記念物

光のクサフグ産卵地 (光市)
教善寺のサザンカ (宇部市)
田万川の柱状節理と水中自破碎溶岩 (萩市) など

山口県の文化財の現状

世界文化遺産

「明治日本の産業革命遺産

製鉄・製鋼、造船、石炭産業」

- ・ 8県11市の23資産で構成
- ・ 平成27年7月世界文化遺産に登録
- ・ 19世紀半ばから20世紀の初頭にかけて、重工業分野において、急速に産業化した道程を時系列に沿って証言する遺産群

明治日本の産業革命遺産

○萩市の構成資産

萩反射炉



恵美須ヶ鼻造船所跡

明治日本の産業革命遺産

○萩市の構成資産

大板山たたら製鉄遺跡



松下村塾

明治日本の産業革命遺産

萩城下町



萩市の5資産は産業技術導入の最初期の遺産群で、幕末に西欧技術を取り入れ産業化をめざした萩藩の全体像とその特徴を明瞭に現しています。

明治日本の産業革命遺産

○平成28年度の取組

- ・ユネスコ世界遺産委員会の勧告への対応
各構成資産の「修復・整備活用計画」を策定
(2017年12月までにユネスコへ報告)
- ・スマートフォン用ガイドアプリの開発
世界遺産としての価値、各構成資産の解説、
所在地や交通手段等の情報提供
- ・世界遺産ビジターセンター（萩市）の開設
萩市の構成資産の説明や萩市の歴史を紹介

山口県の文化財の現状

世界遺産をめざします！

「錦帯橋」

- ・ H18文化庁の「暫定一覧表」の公募に応募
⇒ 「不記載だが、カテゴリー I a の評価」
 - ・ H21 「錦帯橋世界文化遺産専門委員会」を設置
 - ・ H28. 11. 27山口県、岩国市、関係団体等で
「錦帯橋世界文化遺産登録推進協議会」設置予定
- * 県、市、関係団体が協働で行う施策や理解
増進・情報発信等を円滑かつ効果的に推進

文化財の保護と活用

○山口県における文化財の保護

- ・ 県指定文化財に指定することにより保護
 - 所有者に対する文化財の管理・修理の指導・支援
- ・ 国、県指定文化財所有者による文化財の修理に対する費用の一部負担

文化財の保護と活用

○県指定文化財の指定例（H27）

有形文化財（彫刻）

「**木像四天王立像**」（長門市・二尊院蔵）

四軀（持国天、増長天、広目天、多聞天）

概要 二尊院本尊の四隅を守る仏像

鎌倉時代後期の東大寺大仏殿様の
四天王立像

文化財の保護と活用

「木像四天王立像」

持国天



増長天



文化財の保護と活用

「木像四天王立像」

広目天



多聞天



文化財の保護と活用

○指定文化財所有者による文化財の修理に
対する費用の一部負担例

国指定重要文化財「大照院」

「大照院本堂経蔵の建造物解体修理事業」

実施年度 平成24年度～29年度

総事業費 約1.1億円

負担割合 国85%、**県7.5%**、地元7.5%

文化財の保護と活用

「大照院本堂経蔵の建造物解体修理事業」

修理前の本堂



文化財の保護と活用

「大照院本堂経蔵の建造物解体修理事業」

修理前の本堂



屋根のき損状況



文化財の保護と活用

「大照院本堂経蔵の建造物解体修理事業」

修理前の本堂



本堂の組立の様子



文化財の保護と活用

「大照院本堂経蔵の建造物解体修理事業」

修理前の本堂



屋根の修理状況



文化財の保護と活用

○指定文化財所有者による文化財の修理に
対する費用の一部負担例

県指定有形文化財（彫刻）

「木像大内義弘坐像 他3躯」

「美術工芸品（仏像）保存修理事業」

実施年度 平成26年度～27年度

総事業費 約800万円

負担割合 県50%、地元50%

文化財の保護と活用

○指定文化財所有者による文化財の修理に対する費用の一部負担例

特別天然記念物

「八代のツルおよびその渡来地」

「天然記念物再生事業」

実施年度 毎年〔継続〕

事業費 約1500万円（年間）

負担割合 国50%、**県25%**、地元25%

文化財の保護と活用

特別天然記念物

「八代のツルおよびその渡来地」

「天然記念物再生事業」

事業内容

- ・ 渡来ツルの監視、給餌
- ・ 渡来ツルのネグラ整備
- ・ 出水市から保護ツルの移送と飼育
- ・ ツル専門家による委員会の開催

文化財の保護と活用

特別天然記念物

「八代のツルおよびその渡来地」



ツルの移送

飼育中のツル



文化財の保護と活用

○山口県における文化財の活用

学習指導要領では、「伝統や文化に関する教育の充実」を掲げており、「伝統・文化」の象徴である文化財を活用した学習機会の提供を行っている

児童生徒を対象→文化財出前講座
地域住民を対象→文化財愛護教室

文化財の保護と活用

○文化財出前講座

《目的》

地域の文化財に関する講義をとおして、ふるさとに誇りと愛着をもって主体的に社会に参画できる子どもたちの心や態度の育成を図る

文化財の保護と活用

○文化財出前講座

《対象》

県内の小・中・高等学校・特別支援学校

《講師》

文化財に関する専門家、文化財保存団体関係者など（本課が選定、謝金負担）

《講座時間》 1～2時間

《会場》

各学校及び文化財の保存修理・公開現場

文化財の保護と活用

○文化財出前講座の開催実績

《平成24年度》

開催6回（小3中2中等1） 参加者 548名

《平成25年度》

開催5回（小1高3中等1） 参加者 569名

《平成26年度》

開催5回（小1中1高2中等1） 参加者 735名

《平成27年度》

開催6回（中2高1中等2特1） 参加者 881名

文化財の保護と活用

○文化財出前講座の開催実績（H27）

《下関市立勝山中学校》H27.7.10

中学1年生 205名

「下関の歴史的文化財」

（総合的な学習の時間「探検下関」）

講師：下関市教委文化財保護課職員

内容：長府、唐戸、下関駅周辺の文化財（建造物）を中心に紹介

文化財の保護と活用

○文化財出前講座の開催実績（H27）

《下関中等教育学校》H27. 9. 10

1回生 119名

「下関地区の自然」

（総合的な学習の時間「海峡学」）

講師：豊田ホタルの里ミュージアム
学芸員

内容：天然記念物の生態を中心に化石、
生物を用いた講義

文化財の保護と活用

《下関中等教育学校》H27. 9. 10

「下関地区の自然」



文化財の保護と活用

○文化財出前講座の開催実績（H27）

《山口南総合支援学校》H27.11.11

高等部1～3年生 9名

「鑄銭司地区の歴史銭貨の鑄造と鑄銭司跡」
（学校設定科目「進路プランニング」）

講師：山口市教委文化財保護課職員

内容：周防鑄銭司跡、昔のお金、発掘での発見物などの講義

文化財の保護と活用

○文化財愛護教室

《目的》

文化財に対する知識を深め、文化財に関する愛護思想の普及を図る

文化財の保護と活用

○文化財愛護教室

《主催》山口県文化財愛護協会

《対象》地域の住民

《講師》

文化財に関する専門家、文化財保存団体
関係者など

《講座時間》1～2時間

《会場》

文化財の保存修理・公開現場 など

文化財の保護と活用

○文化財愛護教室の開催実績

《平成24年度》

開催2回 参加者合計 207名

《平成25年度》

開催2回 参加者合計 130名

《平成26年度》

開催2回 参加者合計 130名

《平成27年度》

開催2回 参加者合計 135名

文化財の保護と活用

○文化財愛護教室の開催実績

≪平成24年度≫

開催2回 参加者合計 207名

- ①毛利家本邸〔講演と見学会〕
- ②錦川のオオサンショウウオ〔講演〕

≪平成25年度≫

開催2回 参加者合計 130名

- ①大照院〔修理現場見学会〕
- ②大寧寺境内〔講演と現地説明会〕

文化財の保護と活用

○文化財愛護教室の開催実績

≪平成26年度≫

開催2回 参加者合計 130名

- ①防長ゆかりの工芸品〔講演〕
- ②世界遺産〔講演〕

≪平成27年度≫

開催2回 参加者合計 135名

- ①文書の中の動物〔講演〕
- ②三田尻御茶屋〔講演と現地説明会〕

文化財の保護と活用

○文化財出前講座や文化財愛護教室の課題

- ①修理現場や現地説明会では受入人数や時期に制限がある
- ②学校や地域のニーズに合った講座の開設が難しい
- ③出前講座の利用校に偏りがある

文化財の保護と活用

○山口県の文化財紹介ウェブサイト「山口県の文化財」

<http://bunkazai.pref.yamaguchi.lg.jp>

- ・山口県内の国指定・県指定の文化財600件の情報を掲載
- ・名称・分野・所在地などで検索可能
- ・携帯サイトも準備

意見交換の視点

○文化財を活用した学習機会の提供の充実

- 広く県民に文化財を身近に感じてもらうためにどのような方法があるか
- 文化財保護の大切さを知ってもらうための情報発信はどうあるべきか